

官民若手イノベーション論ELPIS ～活動報告～

2020年1月16日
研究開発・イノベーション小委員会
ELPIS企画運営チーム

令和を創る平成生まれのイノベーション論

(第14回研究開発・イノベーション小委員会にて報告)



官民若手イノベーション論 ELPIS

Engineers and Leaders Picture Innovative Society

Vision

イノベーションで新時代を創る

科学技術イノベーションに携わる官民若手で集まり、未来を創るための議論・提案・実行をしていきます。

Mission

組織を超えた産学官の若手によるプラットフォームをつくります。

■ 組織を超えた産学官の若手

- ①イノベーションの現場の**30代以下の若手**で議論します。
- ②政府だけでなく、**官民協働**で推進していきます。

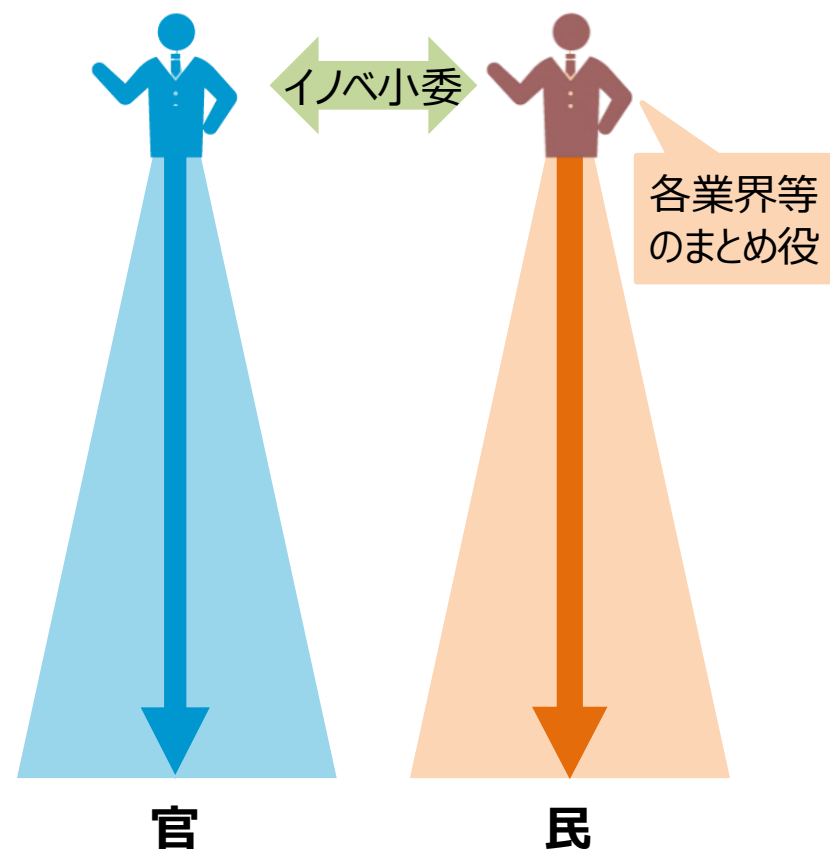
■ プラットフォーム

- ①若手目線からの**政策提言**をしていきます。
- ②若手発案で**官民プロジェクトの実施**をしていきます。

ELPISは、省庁と民間の若手が、有機的につながるコミュニティ

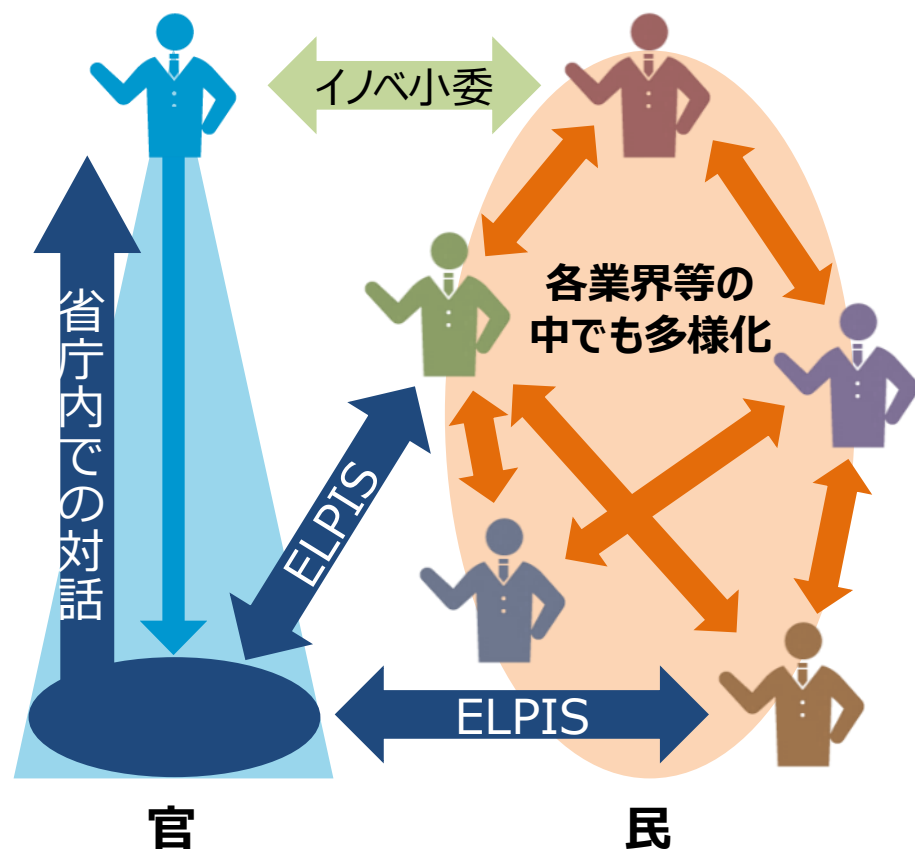
これまで

ピラミッド型組織だったため、トップ同士の政策議論を社会全体に普及／推進できた。



今後

特に民での価値観が多様化。スタートアップや複業など、既存組織に縛られない動きが活発に。



産官学の多様な視点をもった若手と4回のディスカッションを実施

科学技術イノベーションに携わる若手、101名が参加！



ディスカッション内容

第1回 10月19日

若手の描く2050の未来像

第2回 11月17日

2050を目指す上で変化する価値観

第3回 11月30日

政策／ビジネス案アイデアソン
in Tokyo

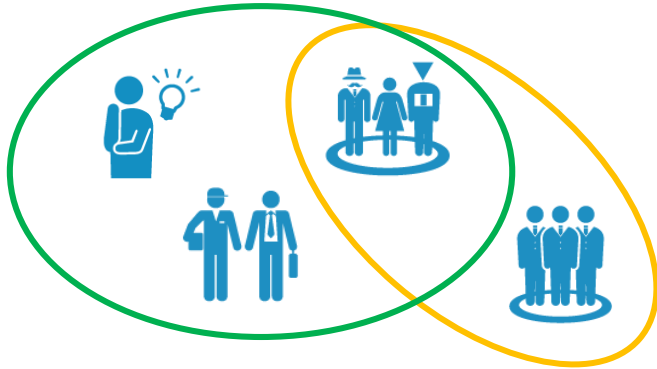
第4回 12月7日

政策／ビジネス案アイデアソン
in Osaka

若手の描く2050の未来像（抜粋）

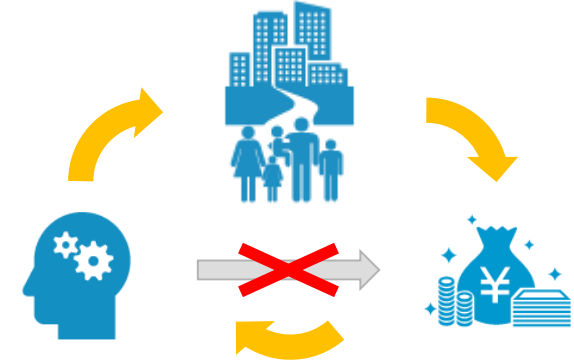
アメーバ的組織

組織は、目的に従って個が集まっては離れる、アメーバのように可変的な形となる。



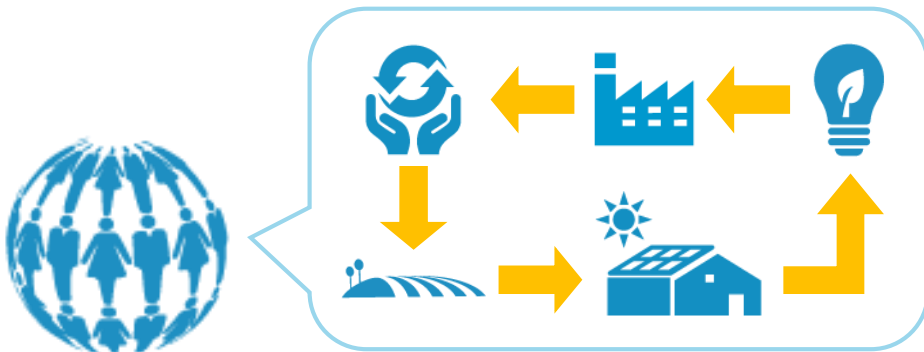
大学研究による社会課題解決

「研究が社会に貢献することでお金が集まる」という好循環を回す。研究コーチングを行う組織としての大学。



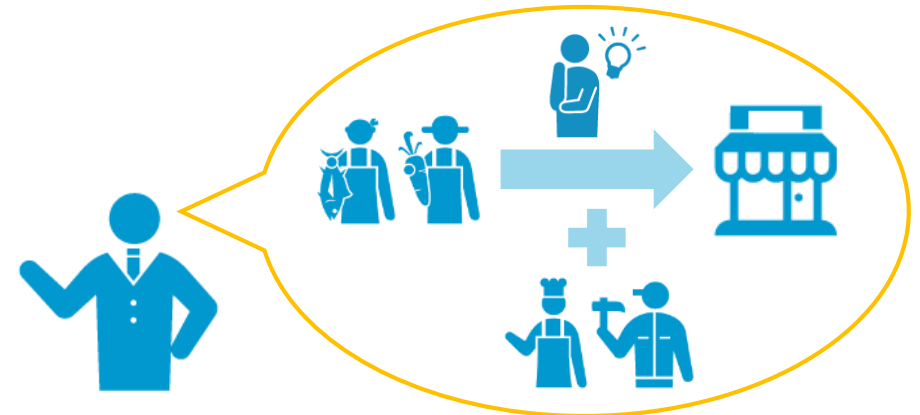
循環型経済

地球の持続化がすべてのベースライン。
再生可能エネルギーの利用拡大でエネルギーコスト0に。



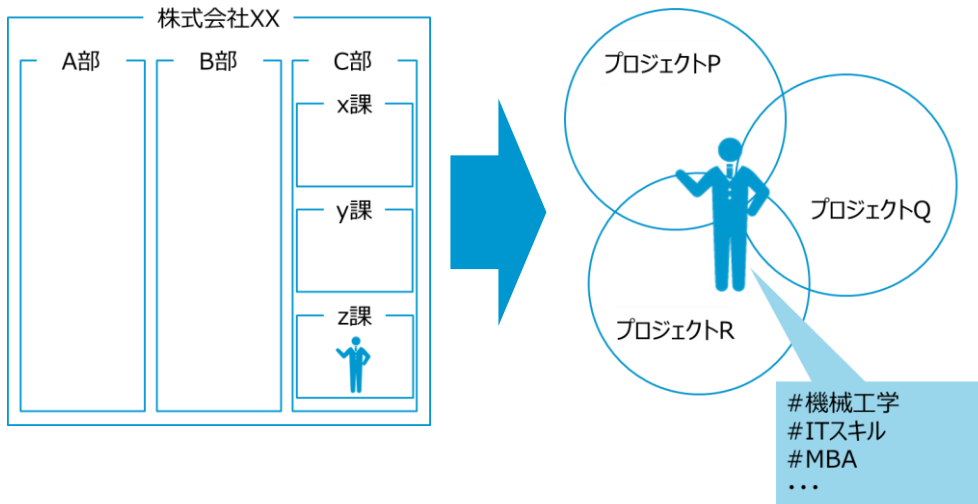
価値はモノではなくストーリーにある

ストーリーを買う時代に。
ストーリーテリングできる人材が重宝される。

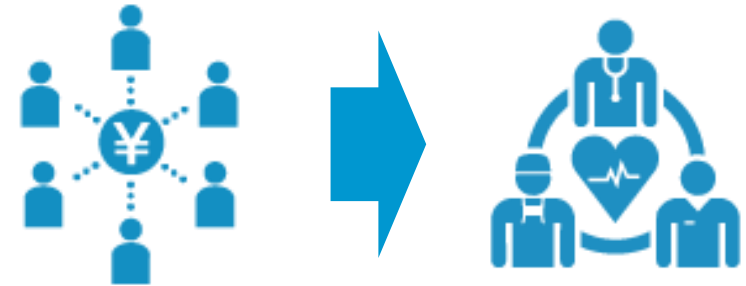


2050を目指す上で変化する価値観（抜粋）

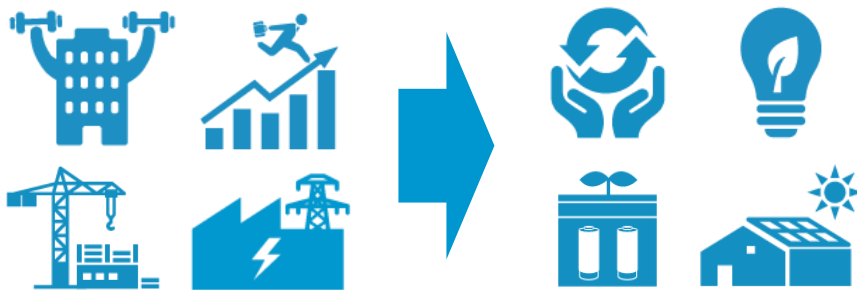
【組織と個人の関係】
「フォルダ型」から「ハッシュタグ型」へ



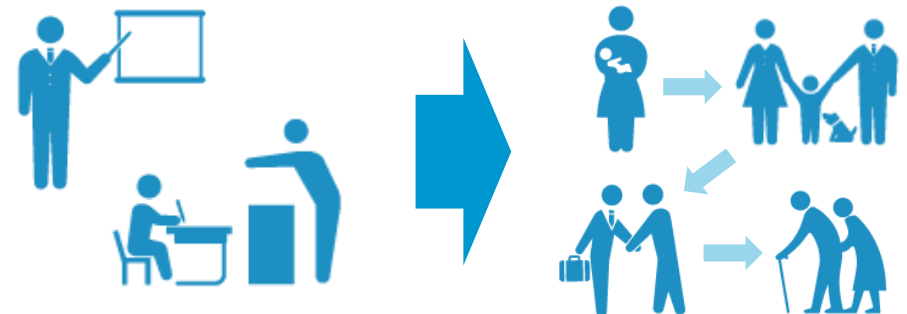
【豊かさの定義】
「お金・機能性」から「幸せ・充実感」へ



【目指す成長の姿】
「経済大国」から「持続可能な地球環境」へ



【学びのあり方】
「知識インプット」から「ストーリー性のある経験」へ

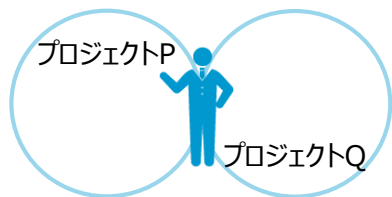


提案された政策／ビジネス案（抜粋）

新しい組織の形



オープンな研究室。
民間の若手が研究室に修行に来て、
知のコミュニティにアクセスできる。



触媒としての管理職。
プロジェクトの“管理”ではなく、
スケールさせる支援を行う。

社会課題と研究のマッチング

社会や事業者の課題を共有し、
解決できる研究シーズや研究者とマッチング。



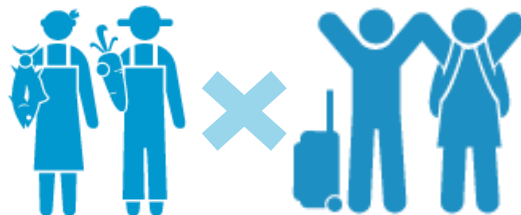
事業化の手伝いができる
エバンジェリストを育成。

資源をムダにしない仕組みづくり

家電と家をセットにした
サブスクモデル



ローカルで食材の
マッチング



自分の「好き」に気づく教育



子どもの頃から専門性の高い研究経験。
基礎知識だけでない思考体験を促す。



生徒が自分の「好き」・アイデンティティ・
スキルに気付く機会を増やす。

今後の活動予定

取りまとめの報告書を作成

第5回ディスカッション 2月11日

- 未来像、価値観、施策をまとめた報告を作成
- 全体を通じた若手からのメッセージを検討
- 今後実施する官民プロジェクトの検討

プロジェクトの実施

メンバーから提案のあったアイデアを ELPISの有志で形にする予定

(例)

- 地域と協働した課題解決
- 価値観に基づいたプロトタイプ作成
- 研究者と事業者の出会いの場づくり

